



まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っている皆さんの姿をお伝えします！



8/21 における避難受入に関する 防災協定締結 複合災害に備えて

株式会社帯広国際と災害時における避難受入に関する協定を結びました。この協定は、コロナ禍における複合災害に備えた分散避難所及び避難施設の確保を目的とし、帯広国際カントリークラブの所有する駐車場やクラブハウス内の設備の使用、飲食の提供など、避難者の受入れについて協力をいただくものです。町長は「災害は起きないに越したことはないが、万が一の際に備えた体制を作ること町民の安心に繋がるだろう。」と感謝の言葉を述べておりました。



8/9 パークゴルフ発祥の町 第8回家族大会 ファミリーでパークゴルフ熱戦

パークゴルフ家族大会がエルムコース(白人小学校北側)で開催され、26名が参加されました。参加者は快音を響かせながら和やかな雰囲気の中プレーを楽しんでいました。家族部門では、造田 道普さん、夏那さん(スコア57)、一般部門では手塚 義春さん、くに子さん(スコア46)が優勝しました。



8/1 シーニックカフェちゅうらい営業開始 カフェの営業を開始

忠類の共栄牧場内にあるシーニックカフェちゅうらいで、地域ボランティアによるカフェの営業が8月1日(土)から始まりました。今年の営業は土日のみで、時間は午前10時～午後3時となっています。また、平日及び祝日は、テラスの開放のみ行っています。標高189mから眺める忠類の雄大な景色をぜひご覧にいらしてください。



7/28 ナウマン象復元模型の贈呈 幕別ライオンズクラブ創立50周年記念事業

同クラブの創立50周年記念事業であるナウマン象復元模型の作成が終わり、スマイルパークのフラワーガーデン前へ設置されました。この日は贈呈式が行われ、町長は「町民がナウマン象の歴史的価値を再認識するきっかけになれば」と話していました。



大戸秀夫さん 紺綬褒章を受章

作家による展覧会への出品作品を手掛けていました。

また、大戸さんの作品は「大戸秀夫」「おおとひでお」と2種類の名義があり、その理由を伺うと、小学校の教員時代に、自身の創作活動を多くの子どもに知ってもらい、それにより子ども達の創作意欲を引き出すため、低学年の子でも読めるようにひらがなにしていった時期があったと笑いながら話してくださいました。

大戸さんの作品は札内コミュニティプラザで観ることが出来ます。ぜひ、みなさんご覧ください。



大戸さんの絵は、広報まくべつ表紙を飾ったこともあります。広報まくべつ昭和52年1月号



8/7 忠類保育所夏まつり 夏を元気いっぱい笑顔で！

忠類保育所夏まつりが開催されました。浴衣や甚平を身にまとった園児たちは、短冊を飾り付けた笹を囲んで元気に七夕音頭やアンパンマン音頭を踊りました。その後、出店でゲームやくじ引きで遊び、夏まつりを楽しんでいました。まつりの最後には、スターマイン80連発などの花火が打ち上がり、フィナーレを飾りました。



8/6 防災協定締結 非常時も安心できるまちづくりに

一般社団法人日本福祉用具供給協会と災害時における福祉用具等の供給などに関する協定を結びました。この防災協定は、町内で災害が発生した場合や、発生する恐れがある場合に、介護ベッドや車椅子、手すりなどを避難所に提供するものです。町長は「災害時、要支援者にとっても安心できる体制ができた」と感謝の気持ちを伝えていました。